

公開講演会 最新化学談話シリーズ

平成30年度第10回談話会

インディゴ類縁配位子を有する機能性金属錯体の 創出と展開

Robin G. Hicks 教授

(カナダ ビクトリア大学)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：平成31年1月8日（火）16時00分より

場所：九州大学理学部化学科 W1-B-314 講義室

(伊都キャンパス ウエスト1号館3階314号室)

内容: 染料として広く知られているインディゴは2つのキレート配位部位を有するのにも関わらず、金属錯体へ応用した例はほとんど見られなかった。そのような背景の下、本講演者らは、インディゴのカルボニル酸素をイミン窒素に変換した”Nindigo”を世界に先駆けて報告した。これまでの研究で、Nindigo 錯体は、配位子中心の近赤外吸収、多様な酸化還元特性に加え、複数の配位様式を有することが見出された。本講演では、Nindigo の配位化学を理解するために取り組んできた近年の複数の研究展開について議論する。

(注)この講演は大学院集中講義の一部です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) 酒井 健：TEL (092)802-4163

(事務局) 化学部門等事務室：TEL (092)802-4125